

Vol.121 「女子中高生の靴下事情」

ルーズソックス(1990年代)、紺色のハイソックス(2000年代)と長い丈の靴下の流行が続いていましたが、ここ数年は、ショートソックスに近い短め丈の靴下が人気となったり、冬はタイツを組み合わせるなど、女子中高生の足元(靴下)に変化がみられます。今回は、全国の中学・高校生の女子を対象に、冬制服の靴下のトレンドを調査しました。

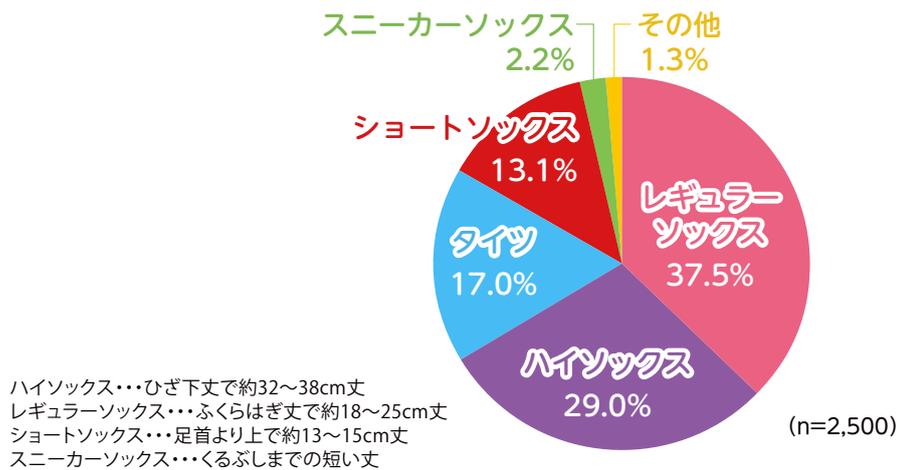


調査概要

調査対象：中学・高校生の女子2,500人
 調査方法：インターネットリサーチ
 実施時期：2015年1月

Q 1. 冬制服の靴下 (全体)

冬の女子中学・高校生の制服の足元(靴下)は、ふくらはぎ丈の「レギュラーソックス」(37.5%)が最も多く、次に、ひざ下丈の「ハイソックス」(29.0%)、「タイツ」(17.0%)、足首より上の丈の「ショートソックス」(13.1%)、くるぶしまでの短い丈の「スニーカーソックス」(2.2%)の順で多いという結果になりました。

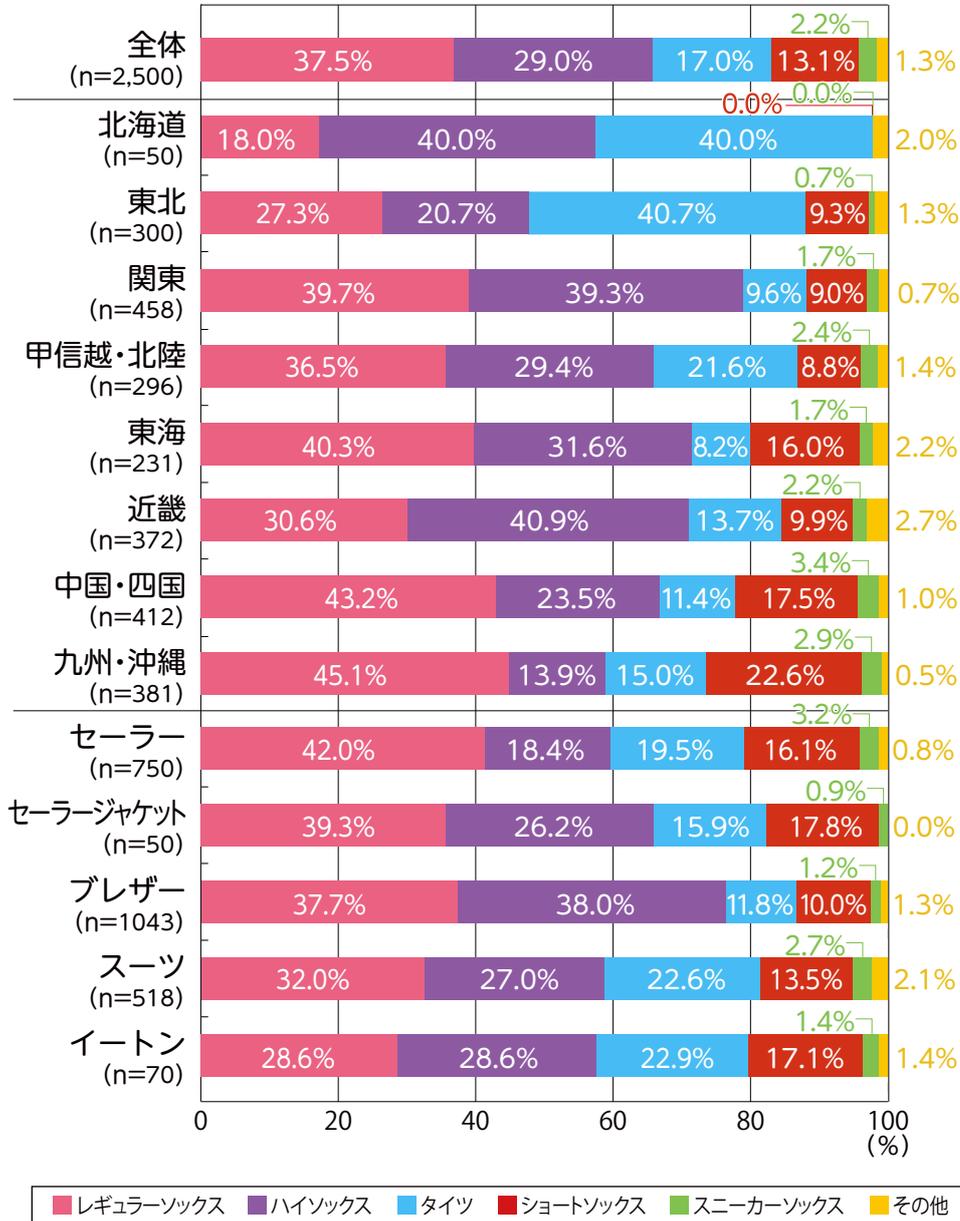


※グラフの数字は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります

【図1】 制服(冬服)の足元は何を履いていますか?(単数回答)

Q 2. 冬制服の靴下（地域別、制服タイプ別）

地域別では、北海道は「ハイソックス」(40.0%)と「タイツ」(40.0%)の両方が多く、東北は「タイツ」(40.7%)が最も多く、九州・沖縄は「レギュラーソックス」(45.1%)の着用が全体に比べて多くみられます。また、制服のタイプ別では、セーラーは「レギュラーソックス」(42.0%)、ブレザーは「ハイソックス」(38.0%)との組み合わせが多いという結果になりました。

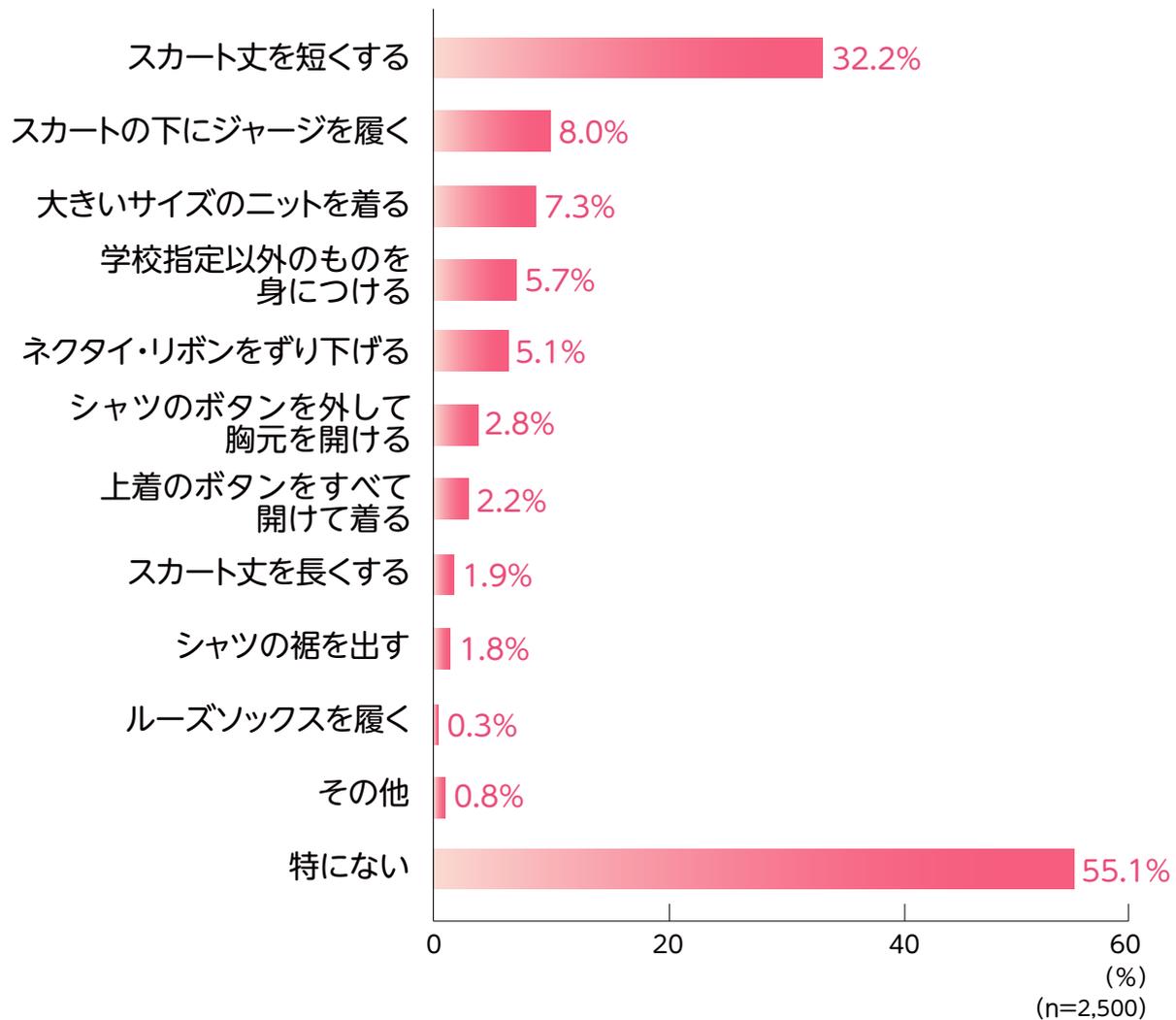


※グラフの数字は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります

【図2】 制服（冬服）の足元は何を履いていますか？（単数回答）

Q 3. 学校で流行っている制服のアレンジ

女子中学・高校生の中で、学校で流行っている制服のアレンジは、「スカート丈を短くする」(32.2%)が最も多く、次に、「スカートの下にジャージを履く」(8.0%)、「大きいサイズのニットを着る」(7.3%)、「学校指定以外のものを身につける」(5.7%)、「ネクタイ・リボンをずり下げる」(5.1%)という結果になりました。「ルーズソックスを履く」(0.3%)という回答はほとんどみられず、学校で流行っている制服のアレンジは「特にない」(55.1%)という回答も多くみられました。



【図3】 あなたの学校で流行っている制服（冬服）のアレンジは？（複数回答）

 まとめ

ルーズソックスは制服のスカートを短くして履くことで、「脚が長く見える」、「太ももが細く見える」と言われて、女子中高生の間で大流行しましたが、ルーズソックスを校則で禁止する学校が増えてからは、紺色のハイソックスが主流となり、「清楚に見える」、「脚が細く見える」などの理由から、紺ソ（紺ハイ）ブームを築きました。

今回の女子中学・高校生対象に調査した学校制服の靴下事情では、冬制服の足元（靴下）は、ふくらはぎ丈の「レギュラーソックス」（37.5%）が最も多く、短め丈が多いという結果になりました。靴下丈を地域別でみると、「レギュラーソックス」（九州・沖縄45.1%、中国・四国43.2%）は西日本が多く、「ハイソックス」（近畿40.9%、北海道40.0%、関東39.3%）は関西より北の地域、「タイツ」（東北40.7%、北海道40.0%）は東日本で多いという地域傾向がありました。制服のタイプ別で靴下丈では、セーラーは「レギュラーソックス」（42.0%）、ブレザーは「ハイソックス」（38.0%）との組み合わせが多くみられました。また、学校で流行っている制服のアレンジは、「スカート丈を短くする」（32.2%）が3割程度であり、学校で流行っている制服のアレンジは「特にない」（55.1%）という回答が半数以上あることから、制服の着崩しをしている女子中高生は少ないようです。

靴下は、校則で色や丈の長さを指定されている場合もありますが、女子中高生にとっては、学校制服と組み合わせるファッションアイテムとして、制服のトレンドとともに変化しているようです。

毎月最終
火曜日
更新

カンコーホームルーム ～学生を読み解くデータ集～

カンコーホームルームは、学生を取り巻く環境や子どもたちの意識・ライフスタイルについて、多角的に調査・分析し、その結果をお届けしています。
ホームページでは、今回ご紹介した調査データ以外にも様々な情報を掲載しております。

<http://kanko-gakuseifuku.co.jp>